

いずみさの教育

NOW
なう

問合先
学校教育課

「子どもの人権」を守るために

今日、「子どもの人権」にかかわる大きな問題の一つとして、いじめの問題があります。私たちはいじめを重大な人権侵害と捉え、「いじめはどの子どもにも起こりうる、どの子どもも被害者にも加害者にもなりうる」という認識のもと、全力で取り組んでいます。

いじめの早期発見のために、各学校では定期的なアンケート調査や教育相談の実施などにより、いじめの実態把握に取り組むとともに、児童・生徒が口頭からいじめを訴えやすい雰囲気をつくっています。さらに、家庭と連携して児童生徒を見守り、健やかな成長を支援していくことに努めています。子どもたちは、人権学習や道徳の授業を通して、仲間の思いを共有し人権問題を自分自身の問題として捉え、「自分の人権を守り、他者の人権を守ろうとする意識・意欲・態度」を育んでいます。

いじめが発覚した時は事実関係をよく把握し、被害を受けた子どもを守ることを最優先にして、必要があれば関係機関とも連携し解決に向けて取り組んでいます。

また、近年子どもたちの携帯電話のメールやインターネットの利用が増加して、インターネット上のサイトや掲示板などで、特定の子どもに対する誹謗・中傷が行われるなど、新しい形のいじめ問題が生じています。「ネット上のいじめ」や有害サイトへのアクセスによる被害などの未然防止や早期解決のために、大阪府教育委員会・大阪府警察本部などと連携し対応しています。

虐待や体罰、セクシュアル・ハラスメントといった大人から子どもに対する暴力的行為も子どもの人権を侵す許されないものであるという認識のもと、学校園と教育委員会が連携し取り組んでいます。泉佐野市ではこれまでも同和問題、男女平等、障害者、在日外国人、平和（戦争）などの人権課題を教育の課題として各校での取組を重ねてきました。これからもその成果をふまえ、「子どもの人権」を守るために、また人権が大切にされた社会を実現するために、人権教育を総合的に推進していきます。

学校園紹介

体験や経験を通して ～はるか子ども園～

4月から、はるか子ども園がスタートしました。幼稚園児と保育所児が同じ施設で過ごしています。園周辺はのどかで、四季折々の自然に触れることができる環境にあります。

■めざす子ども像

- 心も身体も健康な子ども
- 仲間ということに喜びを感じる子ども
- 自分の思いを言葉で伝え考え行動できる子ども
- 感性豊かにのびのびと表現できる子ども

■大切にしていること

- 家庭と連携しながら規則正しい生活リズムを身につけ、全身を使って遊び、丈夫な身体づくりをしていきます。
- 友達と一緒に色んなことに興味関心をもち、経験や体験を通して感じたことを言葉や身体などで感性豊かに表現できる力を育てていきます。また、挑戦しようとする気持ちを育て、共に喜び合い、認め合い、育ち合う関係づくりを大切にしています。
- 異年齢の交流も計画し、思いやりや憧れの気持ちをもつことを大切に取り組んでいます。
- 菜園活動や飼育を通して、優しさや思いやりの気持ちを育て、すべての生き物に命があることを知り、命を大切にできる子ども達に育ててほしいと願っています。今年度は、散歩先で見つけたおたまじゃくしやザリガニ、青虫などを飼育しました。

■食育の一貫としての菜園活動

夏野菜を沢山収穫し、年齢に合わせてクッキングを楽しんでいます。年長児は、おたのみ保育で包丁を使ってカレー作りを経験しました。自分達が毎日水やりをして育てた野菜は格別なようで、嫌いだった野菜も「おいしい」と食べられるようになった子もいました。

■子育て支援事業

子育て中の保護者が集え、つながりがもてるように、遊びの教室・園庭開放・施設開放・0歳児育児教室など、地域に根ざした子育て支援事業を行っています。

4月に開園したばかりですが、保護者のみなさまや地域との関わりも深めながら、子ども達が生き生きと楽しく笑顔で過ごせる子ども園にしていきたいと思います。

地域の人々に支えられ ～長南小学校～

長南小学校は温かい地域に支えられてきた、歴史ある学校です。

長南小学校の取組をいくつか紹介します。

●地域の人々に支えられた取組

地域の人々に見守られながら、地域を知り、地域のことを好きになる、そんな取組を進めています。

その代表が、系統だった人権総合学習にあります。

- 1年生…あそび場（公園）探検
- 2年生…町探検（仕事名人さん）、昔遊びの交流
- 3年生…校区の施設見学
- 4年生…リサイクル事業所見学
- 5年生…農業体験（稲作）、伝統文化を学ぼう
- 6年生…地域の史跡調べ、地域から学ぼう（人権に関する聞きとり）

●新たな取組もすすめています

今年で2年目となる「英語教育推進事業」では、DVDの映像を活用し、1回約15分、週3回（火・木・金曜日）、年間約90回、英語に親しむ活動を実施しています。

もう一つ、新たな取組があります。それは、「算数サポーター」の配置です。学習習慣が定着しにくい子どもや、授業を理解しづらい子どもに、個別の学習支援を行い、学力保障、特に算数の力をつけることや、算数に対する苦手意識を軽減することをねらいとしています。

●まとめ

長南小学校には、何年もかけて定着してきた地域の文化ともいえる取組と、将来必要になるであろう力をつけるための新たな取組があります。どちらも、地域の人々に支えられて子どもたちの力になっていくものばかりです。学校を大切に思い、常に協力体制にある、温かい地域に感謝、感謝の毎日です。